

会報
90号

いそろ

函館の歴史的風土を守る会
会報編集部

発行所 函館の歴史的風土を守る会
事務局 函館市五稜郭町43-9
五稜郭タワー株式会社内
電話(0138)51-4785
印刷所 祐三和印刷 電話45-0845

第38回 函館の町並みを美しくする 新春チャリティーパーティー!

300余人参集! 盛大裡に挙行!
佐古函館市議会議長による乾杯の御発声。



歴史を紡いで38年を迎えた「歴風会」

会長 佐々木 馨



<はじめに> 3月26日に開業する北海道新幹線もいよいよ秒読みの段階になりました。地域の活性化という大きな夢と期待を乗せて「新しい物語」が始まろうとしています。私たち函館市民にとって、その開業の起点が昭和29年9月26日の1430人を犠牲にした空前の「洞爺丸事故」にあるだけに、感慨も一入なものがあります。北海道の交通体系も青函連絡船からJR津軽海峡線を経て、今まさに新幹線時代に突入しようとしています。

そんな時の移ろいのなか、私どもの「歴風会」も発足から38年目を迎えました。これも偏に皆様のご理解とご支援のお蔭でございます。心より厚くお礼申し上げます。月並みであります。この一年の「回顧録」を申し述べまして、ご挨拶に代えたいと思います。

<「歴風会」の恒例イベント>

- ① 2月19日(金)に五島軒本店で開催された「第38回函館の町並みを美しくする新春チャリティーパーティー」であります。ご多忙のなか、305名のご参加をいただきました。これはここ10年の中で最高であり、開催当事者として感謝に耐えません。実行委員会の岸部祐一委員長と小林八重子副委員長に改めてお礼申し上げます。
- ② 平成21年から函館市都市建設部まちづくり景観課とのタイアップイベントの「見て、聴いて、考える町並み～住む人の思いにふれて～」であります。実は、このイベント、昨年9月13日に予定しておりましたが、天候不順に加え、落雷の危険性があったため、あえなく中止になってしまいました。お詫び申し上げます。
- ③ 平成5年に開始した「開港5都市景観まちづくり会議」についてであります。昨年11月6、7日の両日、神戸で開催され、函館から7名が参加してまいりました。全体テーマは「開港都市からの発信～わたしたちのまちづくり～」であり、学ぶことの多い大会であったと思います(P8の「参加記」をご参照下さい。)

私どもは「歴風会」と「五文会」を車の両輪として、今後も函館の歴史的風土の保存と活用に努めて参りたいと思います。日本で一番魅力のある町として認知されている「函館」により一層文化的な彩を添えるために。

平成27年度 歴風文化賞 (第33回)

原風景 = 宣言文 =

下海岸の瓦屋根風景

しもかりがん かわあやねふうけい

函館市

函館市東部の志海苔、石崎、戸井、恵山へと続く下海岸。

海岸段丘が迫る国道沿いには、瓦屋根の漁家住宅が連なっている。

セメント瓦に板張りの家屋、昆布干場が醸し出す風景は下海岸独特のものとなっている。

段丘上からは瓦屋根と共に津軽海峡と下北半島の山並み、松前半島、函館山が浮かぶ美しい景色を望むことができる。

長い時間をかけて形成された「下海岸の瓦屋根風景」は函館の原風景であることを宣言する。



原風景宣言文朗読
小林副実行委員長



保存建築物

鹿目浩一邸

かのめ こういち

函館市谷地頭町27-17

鹿目 浩一様

この建物は昭和10年頃に建てられた木造平屋建の和風住宅である。入母屋造りの屋根、漆喰塗とささら子下見板張の壁、木製の建具等、風格のある創建当時の姿で美しく保存されている。

室内の間取りは10畳と8畳の和室に縁側が配置され、構造材はヒノキ、天井は屋久杉が張られている。机、屏風等の調度品も昔のまま保存されている。

付属の蔵は明治時代に建てられ、多くの大火にも耐え抜いた歴史あるものである。また1000坪の広大な庭園には各種の樹木と大きな池が配置され、四季折々の美しい景色をつくりだしている。

この建物と庭園は創建当時の姿でしっかりと保存されており、昭和前期における函館市の住宅の歴史を知る上で貴重な建築物である。

再生保存建築物

港の庵 (函館市大町)

みなと のおり

函館市松陰町1-4レストランバスク内
函館ソシエダ がぎゅうくらぶ 臥牛牡倶楽部
代表 深谷 宏治 様



この建物は明治35年に海産物問屋の松橋商店として建築された土蔵2階建ての商家である。近年になり外壁はサイディングとモルタルで覆われ、創建時の美しい歴史ある姿は失われていた。

この度市民有志が創建時の外観復元を目指し修復を行った。修復の手法は1枚の古写真を基に復元図を起こし慎重に工事を進め再生を果たした。

店舗正面のアールヌーボー風レリーフと鉄柱、両袖のうだつ等忠実に創建時の姿を再現し、店舗内の洋風階段、2階の和室も創建時を彷彿させるものである。

この建物は外観、室内共、創建時の姿をしっかりと留めており、明治期における函館の商家建築の歴史を知る上で貴重な建築物である。



個人賞

毛利 剛 氏
もうり つよし

函館市桔梗町59-152
毛利 剛 様

2004年に6ヶ月をかけて自転車で日本一周を果たす。その後古道・旧道に興味を持ち、道南、日本各地の歴史ある古道・旧道の調査を行ってきた。

2007年から2009年にかけて、箱館戦争で土方歳三の進攻した道を実際に踏破(春期・冬期野宿)、また本州の熊野古道、塩の道を自転車で走破する等、精力的な活動を行った。

2010年からは川汲山道、白神山道、小砂子山道等、道南の古道・旧道を自分の足で歩き、詳細な調査・研究を行っている。

著作は「街道踏破」「土方歳三の歩いた道」「下二股口台場」等、多くの自主製作本を出版している。

毛利剛氏のこれまでの「郷土に根ざした実践活動」を高く評価する。

歴風文化賞選定基準

1. 建造物自体の貴重性
2. 持ち主が長年保存への努力を続けている
3. 景観への寄与
4. 歴史性
5. 地域の町並みや社会全般への波及効果が大きい
6. 諸々の制約の中で創意工夫が顕著である



国会会期中の多忙な中、駆けつけて
くださった逢坂誠二代議員



函館市長代理の長谷山参事の謝辞



厳粛ムードの歴風文化賞表彰式



函館市より感謝状贈呈式

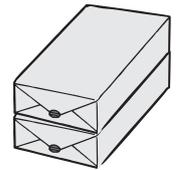


会場入口に展示された“ふるさと写真展”入賞作品



チャリティパーティのビンゴ商品のご提供

ありがとうございました



第38回函館の町並みを美しくする新春チャリティパーティへの
景品のご提供に御礼申し上げます。

五稜郭タワー(株)、(株)五島軒、函館山ロープウェイ(株)、金森商船(株)、(株)青函設備工業、
(株)マークスBMWモーターレン函館、(株)オオタカ函館、北海道コカ・コーラボトリング(株)、中島
孝内科・循環器科医院、福田海産(株)、(株)ニューメディア函館センター(NCV)、(株)元町マリ
ンハウス、LEAVES函館、(株)URK環境設計研究所、今整形外科医院、坂本仕出し店、リード不動
産、POPくらぶ、ギャラリー杉本、花かるた、(有)カーショップ・ニシノ、(有)三和印刷、(有)タ
カオ工業、旧相馬邸、原田組、料亭 富茂登、STYLISH・SALON・HAIR・PIECE・AKITA

- | | | | | | | |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------|
| (歴風会会員) | 岸部 祐一 | 小林八重子 | 佐々木 馨 | 吉村富士夫 | 石井 満 | 落合 治彦 |
| | 新城 光正 | 桜井 拓郎 | 対馬 誠 | 安井 徹 | 原谷 紀昭 | 薩来 俊彦 |
| | 桜井 健治 | 里見 泰彦 | 斉藤 光子 | 今 千尋 | 辰村 和子 | 小山 直子 |
| | 対馬 栄子 | 田島 優子 | 我満 陽子 | | | (順不同・敬称略) |

※記載もれがありましたらご容赦ください。



対馬栄子会員の新春日舞と出演者の皆様



「写真展」入賞御家族のスナップ



恒例の“函館賛歌”で盛り上げる



岸部実行委員長
挨拶

実行委員長あいさつ

岸部 祐一

函館秋田県人会会長

函館の歴史的風土を守る会主催「新春チャリティー・パーティー」の実行委員長をお引受けいたしました、函館秋田県人会会長の岸部祐一と申します。歴風会会長佐々木馨さんと同郷でございます事がご縁で、ご推薦をいただき、お引受けのべきかと迷っておりました時、歴風会が行っている「五稜郭の文化価値を考える会」が亡くなられたフィリップ・グロード神父さんの遺言を元にされている事に深く感銘を受け、大恩をいただいたグロード神父さんに背中を押され、恩がえしの気持ちを忘れず、お引受けをした次第です。

私は、実行委員会に出席して二つの事を感じました。一つは運営委員の皆様が、函館を心から愛する気持ちが、とても素晴らしく力強いものを感じました。もう一つは、次の世代の方々に、この美しい豊かな歴史的風土に恵まれた「ふるさと函館」を伝え育てる気持ちが、ひしひしと感じさせられました。

今から30年前、ホテル法華クラブで日本観光協会会長、梶本保邦^{かじもとやすくに}さんの「観光の理念と本質について」の基調講演の中で観光とは、物見湯山^{ものみゆさん}ではなく、「国の光を観る」の意味で、その土地、その国の輝かしい文化、生き方、制度を視察して、国際的に視野を広げ、見聞を重ね、「地域の活性化は観光の活性化を果たすべし」と。函館を国際観光都市へと、強い提言となり現在までの観光魅力づくりへ大きく前進させることが出来ました。その大きな力は、歴風会の地道な活動そのものであると信じております。

函館秋田県人会では、25年前函館市^{いおほら}庵原町の市有地に秋田杉苗2000本を函館市民の皆さまにお贈りしました。現在間伐後1200本程、胸高直径約25cm程に成長しております。一昨年からお花見の時期に秋田杉の見学会を行っており、会員の小林多七^{いおほら}さんが「恋しくば訪ね来てみよ 庵原の 杜にうえたる 秋田スギかな」と思い出しております。

3月26日の新幹線開業イベントに、函館市の要請により秋田県より「日本一の祭りばやし」国の重要無形民俗文化財の「花輪ばやし」大館市「きりたんぼ」「男鹿なまはげ太鼓」などが応援に函館駅前にかけてつける予定になっております。

本日のパーティーは副実行委員長に、北海道行政書士会副会長で函館秋田県人会副会長の小林八重子さんをお願いをしました。このパーティーのおひらき迄、ご参加いただきました、お一人お一人が、今迄も、これからも美しく魅力ある函館そして道南をみがきあげる郷土づくりに知恵を出せるパーティーであることを願っております。本日までご出席、誠に有難く厚くお礼申し上げます。



小林副実行委員長
挨拶

副実行委員長あいさつ

小林 八重子

北海道行政書士会副会長

ご紹介を頂きました小林でございます。

皆様、楽しんで頂けましたでしょうか？

【函館の歴史的風土を守る会】のチャリティーパーティーが今年もたくさんの方のご協力を頂戴し、盛会の裡におひらきを迎えましたこと、まずもってお礼申し上げます。

この度、函館の原風景に選ばれた【下海岸の瓦屋根風景】は私のふるさとであり、この年に、パーティーのお手伝いをさせて頂きましたことに深い縁を感じながら、函館は津軽海峡を隔てて、本州に思いを馳せながら、暮らしてきた土地柄なのだ感慨深い思いを致しました。

古くから北海道の玄関口といわれ、連絡船から函館山が見えると、ほっとしたことを覚えておりますが、連絡船も廃止され、函館も通過点になりつつあり、人口減少が止まらない昨今ですが、ようやく待ちに待った新幹線が函館にやって来ます。

函館を訪れる方は確実に多くなることでしょう…その時、函館市民がどの様なおもてなしで迎えるのか、先取的な函館市民の民度が試されるのではないのでしょうか？

“食べ物も美味しい”“温泉もある”“名所旧跡もたくさん有る”しかし何よりも函館人の温かい心で観光客をもてなし、ゆったりと町並みを散策して頂きたいものです。この時、38年の永きに亘り、函館らしい町並みを保存されてきた歴風会の功績が改めて見直される事と思えます。

今まで、指定された建造物や原風景を私たちは、函館の宝とし、その保存に尽くされている方々や歴風会の皆様に改めて敬意を表したいと思えます。

今後この活動が永々と続くことを切に願い、本日もお集まりの皆様が益々ご健勝でご活躍されますことをご祈念し、閉会のご挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

受賞者代表謝辞

歴風会文化賞表彰の御礼

本日、函館の街並みを美しくする建築保存の部門で表彰して頂きました。私がいま住んでいる所に、明治11年(西暦1878年)に、浅田清次郎という福井県の敦賀出身の方が庭園と屋敷を造りました。現在の谷地頭温泉は未だ在りませんでしたので、その土地まで庭園は広がっておりました。2代目浅田ハツ様の代で、浅田家は途絶えました。その後は海産商の品田家が明治後半から、大正、昭和と代を重ねて住まわれて、現在の建物と庭園の原型が造られました。函館大火では、建物の一部は焼けましたが、大部分が類焼を免れたと聞いております。私が住む前に、函館最大手の葉問屋三上様ご家族が住まわれましたが、その方が庭園を立派に改造されました。私の父が不動産を商いとする会社に勤務しておりましたので、全くの偶然で昭和52年に、今の土地で私が内科医院を開業することになりました。それ以来現在まで、建物と庭園を私が管理保存しております。建物には殆んど手をつけておりません。後から建て直した部分は材質が違い過ぎるので直ぐ分るので。

歴風会文化賞・個人賞受賞謝辞

ただ今ご紹介を頂きました毛利でございます。一言ご挨拶させていただきます。今回は文化賞の個人賞という、歴風会の由緒ある立派な賞を頂き、心から感謝いたしております。私は主に古道・旧道の調査と研究をしております。昔の道はその存在も忘れ去られようとしている現状があります。その古い道を明らかにして後世に残すという活動です。その古い地図や古文書を調べては、一人で山に入っています。昨年、文化賞の内定を受けた時は、丁度松前の小砂子山道で最大の難所と言われていた、「願掛澤・彦四郎澤」の調査の真っ最中でした。蝦夷を訪れた旅人が箱根以上に厳しいと言われた450年前から続く道を発見出来ました。また箱館戦争で最大の銃撃戦があった、下二股口台場の全容解明も昨年でした。旧幕府軍の土方隊と新政府軍が戦った場所です。この調査には7年の歳月がかかりました。箱館戦争の節目である150年を前に解明出来て良か

鹿目浩一様

庭には松・杉・おんこ・高野まき・もみじ・椿・つつじなどが植わっております。毎年、造園業者が入り庭の手入れをしますが、松には一番手間と経費が掛かります。しかし松の枝ぶりは、木々の配列や庭石、池など、庭の景観を引き立てる主役になっているのです。



受賞者挨拶をする
鹿目浩一氏

今日歴風会より表彰頂きまして、建物、庭園の管理維持が公に認められたことになり、先人の方々の努力に対して、申し訳が立つように感じます。今日表彰された方々も同じ気持ちをお持ちのことと存じます。

歴風会に私が代表して感謝申し上げます。どうも有難うございます。

簡単楚辞ですが、ご挨拶とさせていただきます。

毛利剛様

つたと思います。他には大野地区では炭焼が古くから行われていましたが、資料として全く何も残っていませんでした。そんな時、実際に仕事をしていて、市渡の中村さんを紹介されて、話を聞く事が出来ました。90歳を過ぎていましたが記憶が素晴らしく鮮明で、ワクワクしながら炭焼のノウハウや生活を聞き取り調査しました。



受賞者挨拶をする
毛利剛氏

そしてまだ残っているのかと思い、山中に入り調査したら80年前の炭焼窯がしっかり残っていました。感動的な一瞬でした。

長くなりましたが、今後も名誉ある受賞に恥じない活動をしていきたいと思っています。

最後になりますが歴風会のさらなる発展を祈念し謝辞といたします。本日は誠に有難うございました。

歴風文化賞表彰式・チャリティーパーティーの運営と感想

運営委員 対馬 誠

今年度の表彰式・パーティーは岸部実行委員長、小林副実行委員長の協力もあり、近年では最高の305名の参加で盛大に開催会されました。

歴風文化賞は3件が受賞となりました。今後も函館

の町並景観に寄与している方々の表彰を継続しますので、歴史的価値のありそうな建築物や活躍されている団体、個人を事務局まで連絡いただけると幸いです。来年度も皆様の御協力をよろしく御願いたします。

開港5都市景観まちづくり会議神戸大会



5巡目をむかえた開港5都市景観まちづくり会議
2015年11月6・7日、神戸大会！函館から7名が参加！

今年の長崎大会へ参加しよう！

歴風会会長 佐々木 馨

嘉永6年(1853)アメリカ使節ペリーの来港により、鎖国政策が解かれ、続く和親条約や修好通商条約等で開港された、横浜・函館・神戸・新潟・長崎の五都市が仲間として、情報を分かち合い、今後の町づくりに手を携えて進もうと平成5年(1993)に始まった。

函館は平成25年(2013)当番都市として4巡目の大会を済ませた。昨年は11月6・7の両日神戸市で開催され本市より7名が参加した。

各地の特長ある取組みや事例が報告されたり現地見学が出来るので勉強になる。今年は11月4日～6日長崎市で開催されるので1人でも多く参加して欲しい。

開港5都市景観まちづくり会議2015神戸大会 分科会1 “地域でまもり、そだて、つくってきた開港の街並み”

函館市都市建設部 長谷山 裕一

前日の懇親会の余韻も醒めやらぬまま始まった分科会1は、日本で唯一の大工道具を収集した「竹中大工道具館」の見学、風見鶏の館を中心とした「北野町・山本通地区」や「トアロード地区」、「旧居留地」のまちあるきの後、全体で意見交換会を行った。本稿では、分科会のテーマを最も良く表している「旧居留地」を中心に報告したい。

「旧居留地」は、1868年の神戸港の開港に合わせ、イギリス人土木技師ハートの設計のもと、格子状街路による区画割りが行われ、街路樹、公園、街灯、下水道なども完備した外国人のための居留地を整備したことから始まる。1899年に日本政府に返還された後は、神戸ビジネスの中心地として、日本の銀行や商社が欧米の建築様式を取り入れたオフィスビルを相次いで建設し、現在でも重厚で風格のある地域景観を構成している。この街並みが、神戸市が誇る瀟灑な景観の象徴となっているのは言うまでもない。

しかし、この景観は単に建築を保存したことにより、生み出されたものではない。

地域の100社を超える企業で構成している旧居留地連絡協議会からの説明によると、



「旧神戸居留地15番館」阪神・淡路大震災で全壊。耐震構造で復元

この地区では、バブル経済の崩壊や金融ビッグバンに起因する銀行合併の加速により、オフィスビルの1階が空き店舗となっていた。これに危機感を持った当協議会の理事で大丸百貨店の店長が奔走し、それぞれのビルの1階に高級ブランド店を誘致し、現在のようなファッションブルな街区を形成するようになったという。自社の百貨店へ店舗を誘致するよりも、地域を優先したのである。

さらには、歩道拡幅事業を行政が始めると、協議会はこの動きに呼応し、鋳物製のスタイリッシュなプランターを購入し、会員企業に貸し出し率先して緑化を促進している。

「神戸市の景観まちづくりは、地域のブランド力を高めることになります。景観まちづくりを進めることは、地域で仕事をしている企業の使命であると、会員企業は考えています。」と協議会の理事は続ける。

景観まちづくりは、既に企業の文化になっているのだ。

今回、お会いした神戸市民は、美しい景観を身に纏っているように洒落だった。それは、景観まちづくりが、市民にとっても企業にとっても日常であることから来る、余裕なのかも知れない。

最後に、大会アピールの結びを紹介して、報告を終えたい。

『今日、ここに集まった我々は、この成果を各自のまちに持ち帰り、豊かなまちづくりに向けての努力を各々の地で継続し、広範に発信していくことを互いに確認し、宣言する。』



オフィスビル1階の高級ブランド店



車線を減少し歩道を拡幅



協議会で購入したプランター

開港5都市景観まちづくり会議 2015神戸大会に参加して

函館市伝統的建造物群保存会 小林大輔

今回で20回目の開催を迎えた開港5都市景観まちづくり会議の神戸大会に参加させて頂きましたが、前回の神戸大会にも参加していますので、2回目の神戸大会参加となりました。

1日目の全体会議では各都市のまちづくりの紹介や取組の発表、戦前神戸で発祥した大企業「鈴木商店」の店主鈴木よねを主人公にした「お家さん」の著者で玉岡かおる氏の講演がありました。

2日目に行われた分科会で私はコース2を選択しました。このコースは神戸港をクルージング後に栄町通→三宮中央通→乙仲通→南京町→元町商店街・ハーバーランドをまち歩きするのですが、私がこのコースを選択した理由は乗船するクルージング船が神戸で勤務していた会社が運航していたのと神戸での生活14年間で何気に歩いていた街をまた歩いてみたくなったからです。このまちづくり会議でのまち歩きでは毎回珍しい所を見学できたり、新たな発見ができるのが魅力です。これからこのコースを見学して気になった建物等を紹介したいと思います。

一つ目は栄町通にある地下鉄の「みなと元町駅」です。明治41年、辰野金吾氏（東京駅の設計者）によって設計、建設され元々は旧第一銀行神戸支店でした。その後、大林組の所有になりましたが、阪神淡路大震災で建物内部の復旧が困難な状態になったのですが、神戸市の景観保存に役立てるため、内部を解体し更地にして外壁を内側から鉄筋コンクリートで補強、その壁を鉄筋で支持して保存し駅として利用しています。

二つ目も栄町通にあった「旧神戸住友ビル」です。昭和9年に建設され、通りに面した北側、東側に3連アーチ窓が特徴の建物は平成26年に残念ながら解体され今はコインパーキングになっていますが、当時の写真とその説明を記したパネルが設置されていて昔の街並みを思い出させる工夫がされています。

三つ目は南京町、中華街にある公衆トイレです。「臥龍殿」と名前のその中華風建物は平成5年に南京町商店組合が約七千万円をかけて建築しました。トイレ内にある装飾品はすべて台湾で調達し、一階正面には春節祭で使う龍も展示しています。中華街を見学中に中国系の観光客が多いことが気になりガイドの方にお伺いすると「横浜、長崎、神戸の中華街は昔の中国の街並、風景が残っているので、近代の見物に変わった中国では見ることができないので沢山の中国人観光客が来ています。」と説明を受けて納得をしました。

街歩きで御紹介した三か所は恥ずかしながら、神戸勤務時は全く知りませんでした。普段何気に生活していた場所も観察しながらだと何か新しい物が発見出来るのではないかと生まれ育った函館西部地区を温かくなったら歩いてみたいと思いました。



みなと元町駅



臥龍殿

開港5都市 景観まちづくり会議2015神戸大会 夜間景観学に参加して

一會の会 林 田鶴子

神戸市では、「夜間景観形成実施計画推進委員会」を地域団体や事業者、大学等の方々と連携し、より魅力的な夜間景観を推進しようとしてきました。

そこで

(夜間景観形成支援制度として)

○良好な夜間景観形成のためのガイドラインやルールづくりを支援する、照明アドバイザーの派遣。

○夜間景観の魅力アップや省エネ化して、つながる照明整備等に対する支援。

そして又、夜景観光活性化を推進する為に、日本全国の方々が一堂に会する場『夜景サミット2015 in 神戸』を開催し、情報を官民一体で共有し新たな商品開発をしようと目指しています。

又、照明アドバイザーによる神戸景観を市民の人たちにもわかってもらおうと学校講座を何回も開いているのです。

今、LEDの登場で都市景観は変貌をしているのです。

○エネルギーを減らす事が出来るようになった器具の小型化、ハイパワー化によって繊細な照射計画が出来る。

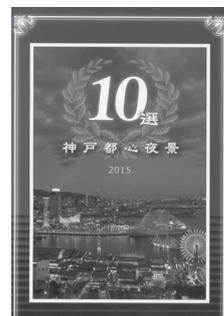
○メンテナンスが楽になったので(LED)高い所、入りにくい所に取り付けられるようになった。

○自由な色彩を作る事が出来るようになった。
○光の色はすべて電球色がおすすめですと講演していただきました。

ずっと1位であった函館の夜景の立場が脅かされ始めています。

函館の地形的夜景はどの都市にも絶対負けないほど恵まれている夜景だと思います。

この地形的夜景を活かし、私たちが明かりを工夫してやはり函館の夜景が一番であると胸を張りたいと思います。



開港5都市景観まちづくり会議2015神戸大会に参加して

運営委員 里見 泰彦

幕末の開港が日本を生まれ変わらせるきっかけになったのは事実であり、その意味で文化、文明の発信地として五都市の果たしてきた役割は意義あるものであろう。函館をのぞいて他都市が県庁所在地であることも開港都市の影響力が押し量られる。

私にとっては横浜について二つ目の参加であるが、啓発されることの多い訪問であった。また、ある団体の夜景ランキングで函館が長崎、札幌、神戸について四位と報じられていたことも興味のあることであり、他都市参加者の夜景に対する思いも聞いてみたいと思っていた。函館の場合、夜景はかけがえのない観光資源であり、細心の対応が必要である。

分科会は第一分科会に参加した。

第一分科会「地域でまもり、そだて、つくってきた開港の街並み」に参加しての感想

1. 夜景は複数の専門家が景観向上に努めている。観光バスの案内は市職員のほかに、照明デザイナー長町志穂氏(京都造形芸術大学客員教授)が同乗、関係する照明のコンセプト、スキルなどについて解説を行った。

幹線道路「フラワーロード」ではLEDを使用して、「花」「緑」「彫刻」をライトアップ。「光のミュージアム」をテーマとした道路空間を創出しようと試みている。

具体的な市民への投げかけとしては、マンションの照明は景観に合うよう協力を依頼、オフィスビルは外周をライトアップ、街の色調統一につなげている。

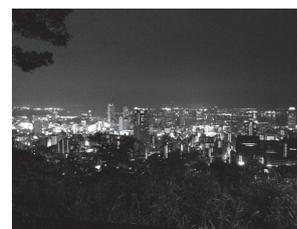
2. 街の発展における函館との違い

外国人居留地など町の中中心が海側から始まり、六甲山に向かって伸びてきた。これが密度の高い街並みを創り出している。

函館が函館山から始まって放射状に際限なく広がっていくのとは対照的である。

3. 伝統的建造物群が密度高く保存されている。

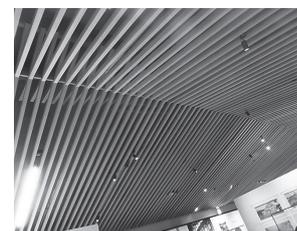
4. 博物館が充実している。竹中工務店の関わる大工道具館は出色。



神戸市夜景 六甲山より



北野異人館街



大工道具館 舟底天井

第13回 ふるさと写真展開催



今年はまだちセンでの受賞記念写真



まちづくりセンター会場



五稜郭タワーアトリウム会場



【金賞受賞作品】



【歴風会長賞受賞作品】



【企業局長賞受賞作品】

今年で13回目を迎えた写真展、新幹線開通を間近に迎え、毎年使用していた函館駅「イカすホール」が使えず、十字街「まちづくりセンター」での展示会、受賞式、五稜郭アトリウムの展示会となりました。前回から高校生も参加し、今年は102点の作品が集まりました。今年は乗物、特に市電の優秀な作品が見られ、西部を走る市電、湯の川に新設されたアリーナを背景に走る市電が目を引きました。

新幹線開通で多くの観光客が訪れることが期待されますが、若い世代が函館の歴史ある建物、そして風土を知ることが大事です。この写真展を通じて、いくらかでも手助けになればと考えています。

応募受付にご協力いただいた五稜郭タワー、五島軒の皆様方に感謝申し上げます。
(運営委員 新城 光正)



チャリティパーティーに招待した小助川さん、坂本さん、小野君【手前】

《入賞者氏名》(敬称略)

- | | | | |
|--------|------------------|------------------|------------------|
| ▶金賞 | 小助川美里 (遺愛女子高2年) | 〔男たちの祭り〕 | |
| ▶歴風会長賞 | 坂本 裕貴 (潮見中1年) | 〔タイムスリップ〕 | |
| ▶企業局長賞 | 小野 祥生 (千代田小6年) | 〔西部地区でとった市電〕 | |
| ▶銀賞 | 八幡 一花 (深堀小1年) | 窪田 みゆ (昭和小学6年) | 年代 麻優 (亀田中2年) |
| | 佐藤宗二郎 (ラ・サール中2年) | 山木 歩 (ラ・サール中2年) | 山田 康博 (ラ・サール高2年) |
| ▶銅賞 | 小野 祥生 (千代田小6年) | 木村 理奈 (附属中2年) | 柴田 ゆず (附属中1年) |
| | 澤田こころ (附属中1年) | 加藤 隼也 (ラ・サール中1年) | 神谷 拓海 (函館工業高1年) |
| | 寺川 翔流 (函館工業高1年) | | |
| ▶佳作 | 砂原由妃乃 (附属中1年) | 吉本 有秀 (亀尾中2年) | 川原 希優 (深堀小2年) |
| | 山木 悠輔 (千代田小6年) | 砂原希乃風 (中の沢小5年) | 宮崎 哲平 (千代田小2年) |
| | 松原 亜門 (ラ・サール中1年) | 赤石 直士 (函館工業高2年) | 小助川美里 (遺愛女子高2年) |
| | 三橋由葵乃 (函館中部高2年) | | |

「五稜郭の文化価値を考える会」平成28年度講座日程

本年度も、年2回の講演会の開催(市民の自由参加)と併せて研修会として5回の<連続講座>を予定しています。

- ① 4月29日 第1回目講座「幕末外交文書の概要紹介」元函館市史編纂室長 紺野 哲也 氏
- ② 5月23日 第1回目講演「江差文化と函館」神山茂賞受賞 文化団体「江さし草会」代表 松村 隆 氏
- ③ 6月18日 第2回目講座「五稜郭は未完成か?」元中学校教員 茂木 治 氏
- ④ 8月27日 第3回目講座「武田斐三郎と箕作元輔」元函館市史編纂室長 紺野 哲也 氏
- ⑤ 10月 第2回目講演「未定」宮城学院女子大学教授 菊池 勇夫 氏
- ⑥ 12月 第4回目講座「未定」五稜郭奉行所館長 田原 良信 氏
- ⑦ 2月 第5回目講座「安政元年の村垣日記を読む」はこだて外国人居留地研究会会長 清水 憲朔 氏

会 務 日 誌

- H27. 4. 29
五稜郭の文化価値を考える会 連続講座 第1回
- H27. 5. 15
平成27年度函館の歴史的風土を守る会 総会
- H27. 5. 23
「五稜郭の文化価値を考える会」総会・第3回講演会
- H27. 6. 11
第1回運営委員会
- H27. 6. 18
五稜郭の文化価値を考える会 連続講座 第2回
- H27. 7. 2
第2回運営委員会
- H27. 8. 20
第3回運営委員会
- H27. 8. 25
五稜郭の文化価値を考える会 連続講座 第3回
- H27. 9. 1
「見て、聴いて、考える町並み」打ち合わせ
- H27. 9. 13
「見て、聴いて、考える町並み」雨天のため中止
- H27. 9. 24
第4回運営委員会
- H27. 10. 22
第5回運営委員会
- H27. 10. 31
「五稜郭の文化価値を考える会」第4回講演会

- H27. 11. 6~7
開港5都市景観まちづくり会議神戸大会
(佐々木・里見・小山)
- H27. 11. 15
古武井溶鉱炉跡等見学会 18名
- H27. 11. 26
第6回運営委員会
- H27. 12. 1
五稜郭の文化価値を考える会 連続講座 第4回
- H27. 12. 26
第7回運営委員会・CP第1回実行委員会 20名
- H28. 2. 6
第13回「ふるさと写真コンクール」入選作品審査
- H28. 2. 10~15
第13回「ふるさと写真コンクール」展示会
- H28. 2. 11
第8回運営委員会・CP第2回実行委員会 16名
- H28. 2. 14
第13回「ふるさと写真コンクール」表彰式
- H28. 2. 16~18
第13回「ふるさと写真コンクール」展示会(再展示)
- H28. 2. 19
第33回歴風文化賞授与・町並み基金贈呈式及び
第38回新春チャリティーパーティー(305名)
- H28. 3. 7
五稜郭の文化価値を考える会 連続講座 第5回
- H28. 3.
第9回運営委員会・CP第3回実行委員会及び
ご苦労さん会
第10回運営委員会

*** 編 集 後 記 ***

- ◇会報90号の発行に際し、玉稿いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。
- ◇2月19日、「第38回新春チャリティー」無事終了出来ました。公務多端の折、実行委員長岸部祐一氏と小林八重子副実行委員長様には会員一同心から感謝申し上げます。対馬誠会員の指揮のもと一糸

- 乱れぬ役割を果たした実行委員の皆様ご苦労様でした。昨年より参加者が増え嬉しい限りです。
- ◇“ふるさと写真展”は担当の新城光正会員の奮闘に深謝。
- ◇今号の写真は、長谷山裕一氏(函館市役所)、築地昌二氏(大野文保研)、対馬誠会員、新城光正会員、里見泰彦会員によりました。(文責 落合治彦)